

三條	6時	9	12	15	18	21	24	最高	最低
加茂	6時	9	12	15	18	21	24	最高	最低
弥彦	6時	9	12	15	18	21	24	最高	最低
燕	6時	9	12	15	18	21	24	最高	最低

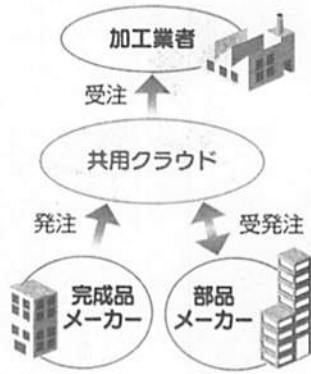
紫外線情報 三條 強い

三條総局
 〒955-0092
 三條市須頃 2-89
 0256(33)0408
 FAX(33)3347

市内業者 受発注データ共有

燕市公設クラウド構築

燕市や燕商工会議所などでつくる「燕市IoT推進ラボ」は、市内のメーカーや加工業者などが受発注のデータなどを共有する「燕版共用クラウド(仮称)」の構築に取り組み、企業間の受発注の効率化を進め、生産性を高めることが狙い。公設のクラウドは珍しいという。10月からシステムの開発を進め、年明けの試験運用開始を目指す。



年明けから試験運用

国は、IoT(モノのインターネット)技術の導入を推進するため「地方版IoT推進ラボ」の設立を自治体に呼び掛けており、燕市では5月に活動を始めた。燕市のラボには企業や商工会議所のほか、燕三条地場産業振興センターなどが参加し、9月6日に経済産業省の認定を受けた。県内では県と長岡市、柏崎市が認定を受けている。燕市のラボの主な取り組みが共用クラウドの設立・運営だ。燕市では1社完結で製品を供給するより、複数の企業が役割を分担し、供給することが多い。

そのためには、燕市のラボでは受発注の記録や製品の流れを把握できるクラウドサービスを構築することにした。完成品メーカーがクラウドで製品を部品メーカーに発注し、受注した部品メーカーがさらにクラウドを通して加工業者に研磨などを発注するといったことが可能になる。照し。

こうしたシステムの導入は小さな企業では費用の負担が重い。公設のクラウドを設立することで、産業界全体の活性化を目指す。クラウドの開発費約500

企業間の受発注の際、数量や納期を口頭で伝えることがあり、混乱を招く要因となっていた。また加工のために製品が業者から業者へと移ることもあり、発注した製品を現在どの業者が担当しているのか把握することが大変だった。

そのため、燕市のラボでは受発注の記録や製品の流れを把握できるクラウドサービスを構築することにした。完成品メーカーがクラウドで製品を部品メーカーに発注し、受注した部品メーカーがさらにクラウドを通して加工業者に研磨などを発注するといったことが可能になる。照し。

万円の市が負担する。運営費はユーザーが負担し、試験運用の段階では市が半額を負担する予定だ。

現在システムを構築・運営する業者の選定を進めており、10月2日に契約の締結と事業開始を予定する。2022年4月に本格的な運用開始を目指す。最終的には、各工場の機械の稼働状況なども可視化できるようにし、機械のシェアなども可能にしたい考えだ。

市商工振興課は「グローバル化によって競争相手が増え、求められているものが高度になっている。クラウドの活用によって生産性を向上させていきたい」としている。

バリに広げられ燕の魅力

燕中等教育学校5年生を深めた。阿部さんは「日の阿部詩央里さん(17) 本や燕市のことには少しはが、夏休みにインドネシアのバリ島を訪れ、ボランティア活動と燕市のPRに取り組んだ。燕市の魅力を英語で紹介した手配り、現地の人と交流した民間のボランティアツアーに個人で参加し

燕中教校5年阿部さん訪問

写真や英語で紹介

た。8月18、26日に現地の孤児院や幼稚園で子どもと触れ合ったほか、日本語教室でアシスタントを務めるなどした。せっかく海外を訪れるなら燕市を紹介したいと、パソコンでチラシ作りを取り組んだ。背脂ラーメンや鶏肉のレモンあえなどの当地グルメや、分水おいらん道中や大河津分水路の桜並木を写真と英文で説明した。当たり前のように

嗅覚の鋭さ頼り 共に生きる 触れ合い楽しく

飼い主表彰や乗馬体験 三条で動物愛護フェス



市民らが動物との触れ合いを楽しんだ県央地区動物愛護フェスティバル=22日、三條市上須頃

麻葉探知犬に驚き 下田中で税関教室

税関の役割や薬物の怖さについて、出合う機会が多いが、一度でも手学ぶ「税関教室」が、三條市の下田中学校で開かれた。生徒たちは、水際で密輸を妨ぐ税関の仕事、続いて成田空港などで活躍中の動物に親しみ命の大切さを考える「県央地区動物愛護フェスティバル」(実行委員会主催)が22日、三條市上須頃で開かれた。長寿動物の飼育主の表彰やスポートドッグの模範演技、ポニ

